

平成28年度 第1回大阪府立今宮高等学校 学校協議会 記録

日時：平成28年6月11日（土）15：50～17：00

場所：本校 校長室

協議会委員（敬称略）

吉村 和彦	芦屋大学教授 元今宮高校校長
竹村 弘文	大阪市立木津中学校校長
藤岡 靖夫	自彊会会長
鳥津 刈野	後援会会長
田中 佐祐美	P T A会長
山本 英夫	戎橋商店街振興組合事務局長

1. 校長挨拶

- ・新年度が始まり1学期中間試験と体育祭が終わり、かなり落ち着いてきました。
- ・1学期は行事が多く、体育祭・オープンスクールが終わって、すぐ2年生の野外スクーリングがあります。

2. 協議会委員および事務局員紹介（藤岡委員は欠席）

3. 会長選出・・・昨年度からの継続ということで吉村先生に依頼。異議なしで承認。

4. 事務局からの報告

①「本年度の取組みについて」・・・学校経営計画の中期的目標については、特に大きな変更点なし。

★めざす学校像として、自主自尊、多様性を認めるということで、「出る杭は打たれる」のではなく「出る杭を伸ばす」ことを大事にしている。

★生徒が自ら「考える力」「まとめる力」「伝える力」を育てたい。

★国際感覚・国際交流力の育成として英語表現力の向上に力を入れたい。

★自己実現のための進路保障として、センター試験への取組を強化したい。

★4年制大学に進学する生徒の進路について・・・

国公立大および有名私立大への合格者レベルの学力育成

国公立大学、関関同立、産近甲龍、武庫川女子大同志社女子大甲南女子大の進学比率70%以上

★ICT機器の充実とICT機器使用授業の増加・・・

普通教室は残り5教室ですべての教室にプロジェクタ設置完了

「ICT機器が授業等で活用されている」の生徒の肯定的回答が8割超えるところまで来ている。

★授業中に「生徒がしっかり声を出して発言する」・・・

挨拶は大きな声で言えるが、授業での発言がとても小さい。生徒の肯定的回答を50%以上にしたい。

★英語力の強化・・・昨年度、2年生英検全員受験。本年度も。英検準2級以上の保持者7割以上に。

★スタディサポート学カリサーチの実施・・・

入学してから卒業まで学習習慣と学力をデータ化。生徒の力づくにデータが活用できればと考える。

★より風通しのよい職場の実現・・・

分掌・学年の有機連携の肯定的評価を60%以上にしたい。管理職が学年会や分掌会議に出席して多くの先生方の意見を聞く。経営会議などでフィードバックできる場所はしていきたい。

★生徒の生活習慣の改善・・・

昨年度までは「遅刻の総数がどれくらい減ったか」で評価。

サボっているのではなく、いろいろな事情で何とか遅刻しながらでも学校に来ている生徒もいる。

従来の遅刻のカウントの仕方を変えて、きっちりと学校に来ている生徒が何名いるかをカウント。

何割の生徒が遅刻5回以下か。総数遅刻5回以下の生徒比率を80%以下にしたい。

★11月12日（土）の創立110周年記念事業・・・

生徒のために学校設備の充実を図りたい。最終的に寄付金が1200万円くらい

①体育館の三連脚690人分とフロアシート、

②LL教室の設備更新

③普通教室のICT設備の充実・・・普通教室のプロジェクタ5台、教室の遮光カーテン設置

その他の資料

「スタディサポート今宮高校入学時の学力推移」「19期生（H28年度3年生）模擬試験推移」

★「19期生 20期生 21期生の入学当初の学力・学習習慣の比較

新入生の学力と学習習慣がA3ランク以上（関関同立レベル偏差値）の人数が増加
新入生は、コツコツと勉強している生徒が入学している。

下の層も多少増えたが平均的なレベルはだいたい昨年度と変わらない。

★課題でもあり強みでもあるが、模試の成績は2年生で下がり3年生で上がってくる。

「3年生はこれから伸びる」。3年生の国公立大受験希望者・関関同立受験希望者への激励に。

「戎橋筋商店街のパナー制作報告」

★書画部の絵手紙・体験型イベントの一環で、戎橋筋商店街のパナーを制作。

★平日に6万人、休日に10万人月に100万人が訪れる商店街、3世代の方々に愛される商店街として
「母の日」と「父の日」のパナー裏表で4枚を制作。母の日の「ええもんもろたわ」等の作品紹介

「朝日新聞の夏の高校野球CMの記事」・・・

★テレビCMは6月中旬より順次「一球に、一瞬に、一緒に 叫ぼう」

②保護者から意見について（本協議会に対する意見）・・・特になし

③3授業アンケートの実施について・・・7月と12月に実施。

7月実施のアンケートについては第2回協議会で報告予定

④教科書採択について・・・現在、来年度に使用する教科書を各教科で選定中。6月末を目途に決定。

7月中頃に教育委員会に報告。教科書選定についても第2回協議会で報告予定

5. 協議・・・自由討論

★中学生は普通科志向が強く、総合学科や総合選択制など様々な選択肢がある中で、普通科高校は「わからなかったら、とりあえず普通科」という広報の仕方をしている。

★今宮高校ならば、ゆっくり進路・選択科目を決めることができる。早めに決めきれない子どもも、成長しながら選択科目や自分の進路を決めていけるので、余裕のある学校であると思う。

★3年生ではほとんど選択科目で、行きたい大学があって受験科目を調べて科目選択をするが、成績が思うように伸びなかったり、他の大学をうけようとする、選択していない科目があり受験できない大学があった。あとあとになって進路変更をするときに困った。

★大多数は"勉強系"の科目だが、総合学科なので強制的に選択しなければならないということではない。
高校の役割は学力をつけることなので、あまりに将来の選択できる範囲を狭めすぎないような指導が必要。

★社会に出たら必ず様々に選択に迫られる。高校でどういう科目を選択して、将来どのような進路に進むか、自分の進路を切り開いていくためには、何か自分の力で学んでいく力が必要。

★長い目で見たときに「人間力を育てる・幅広い知識社会力をつける」「興味関心のある教科を選択する」その両方をできるのが総合学科であると考え。

★「アクティブラーニング（主体的学び）」という言葉が独り歩きしているが、「ラーナー」になっていない。
アクティブラーナー（主体的に学んでいける生徒）を育てる授業であるということが終着点である。

★少人数展開やグループ学習など、総合学科を選んだ生徒は模擬授業をさせるといろいろなところで発表の経験をしているので堂々としている。総合学科の卒業生は、課題研究などで発表してきた「まとめる力」等が非常にすぐれている。改めて総合学科の力はすごいなと感じた。

★今宮高校の「ブランド計画」について、戎橋商店街では次の世代が、チームをつくりアイデアを事業に落とし込んでいく。ある程度の制約やルールのある中でひとつひとつアイデアを具体化していく中で、「賑わい」の意味を浸透させている。今宮高校の「ブランド力」向上のヒントになればと思う。

6. 次回以降の予定について

第2回 11月18日（金）6～7限授業見学後に実施 15:50～17:00

第3回 2月16日（木）

（参考）2月10日（金）、1年英語暗誦大会・2年生英語スピーチコンテスト